

令和 6 年地域井戸端会 報告書

開催日時	令和 6 年 5 月 23 日(木) 18 時 30 分～20 時 30 分		
開催場所	杵束まちづくりセンター	参加人数	13 人
出席議員	岡本正友、三浦大紀、田畑敬二	補助員	村木勝也
テーマ別に 出た意見	【総務文教】 地域交通について～移動の自由をどうつくるか～ ・ 弥栄町内にはガソリンスタンドや JA コープなどがあり買い物は維持できている。 ・ 医療センターなどに行く場合は、市の生活バスを活用しているが高校の登校について不便。 ・ 免許返納が進むことによってコミュニティワゴン輸送を検討する。		
	【福祉環境】 市の環境施策や環境に配慮した市民活動のあり方について ・ リユース食器の活用推進がエコライフ推進隊の勉強会でも説明された（上限 5 万円補助）。 使用後は洗う。そこにも資源が使われているが、どちらが環境的に良いのか。下水道も整備されていないので、川へ洗った水の多くも流れているのではないか。 ・ 分別はめんどろ。 ・ 風力発電事業があるが、生活的なメリットがないと興味湧かない。負担だけが大きくなる印象。 ・ ゴミステーションが町内ごとにならない。高齢になってくると冬場にゴミ出しができなくなる。独居の人たちは個別収集始めているが旧市内でもあるのか？コミュニティがあるから助け合いでできていることが多い。 ・ 大型ゴミ収集も限られている。実態はどうか？ ・ 環境へ配慮した活動として、笹ゆりを残す会、弥栄の自然を守る会（野鳥見学など）など市民の取り組みがある。周布川を見ても鳥がいない、魚がいない、虫がいない。環境が悪くなっている証拠。 ・ 風力発電、洋上風力は良いと思っていたけど、環境破壊の側面が大きい。風車による健康被害も出ている（低周波）。		

	体験村でも音が聞こえる。弥栄断層は考えているのか。能登半島の風力発電、かなり壊れたと聞いている。不安。
	【産業建設】地域産業の問題点と課題について ・大坪トンネル、十国トンネル内の照明が暗い。自転車等で移動する住民がおり、事故の起こる可能性が高いので県に改善の要望をお願いしたい。 ・市道・農道のセンターライン・サイドラインが消えている。夜間は特に見えにくいので、早急にラインを引いてほしい。
自由意見	【総務文教委員会】 ・寮を新設したが、満室でないのに作る必要があったのか。 →満室ではないが今後の生徒獲得を考えると必要と判断（岡本） ・神楽伝承館の必要性についてコンサルへの委託費が採択されたとのことだが、サンビレッジの件もコンサルに委託していた。この 652 万円も同じような内容か。コンサルへ丸投げではダメだ。 →そのような内容（岡本） ・今後、郵便局とコンビニをマッチングした店舗を求める。 ・市長と市議会がギクシャクしているように感じる。調和を求める。

	【福祉環境委員会】
	【産業建設委員会】 ・体験村が稼働したが運営の仕方が変わっていないのでは。地域の人たちをお願いしながら、株主運営しても良いのでは。主体性がはっきりする。風力発電エリア（田ノ原から体験村）にオフロード、馬などの体験メニューを作ったりあるものの活用も。

令和 6 年 5 月 30 日 報告者 三浦大紀